



## 中部横断自動車道八ヶ岳南麓 新ルート沿線住民の会ニュース

No.10 2014年2月7日発行

### 1/25 多くの住民の参加で総会を開催

沿線住民の会の総会は、90人を超える住民の参加で盛会裡に開催されました。総会では冒頭、「下井出地区東組」「南麓の会」など4団体から連帯の挨拶をいただき、道路住民運動連絡会等からのメッセージの紹介がありました。その後、この1年の活動報告および会計報告に続き、2014年度の活動方針が提案され、拍手で確認されました。今後も八ヶ岳南麓を横断する高速道路計画・新ルート案の見直しと国道141号の改良改修を求めて、国交省はじめ関係機関への働きかけを強めていくことが確認されました。

### 関東地方小委員会は「B案」取りまとめの再検討を！

今年度は関東地方小委員会の開催が予定されるため、これまでも増した働きかけが必要です。昨年末には甲府河川国道事務所との意見交換会を2度にわたり持ちました。その意見交換会で私たちは新ルートB案のおかしい点を追及しましたが、その中で甲府河川国道事務所は地元説明会などで出された住民の意見は「高速道路は必要」とする意見の方が多かったとワーキンググループに伝えていたことが明らかになりました。ワーキンググループが取りまとめをするにあたり、国交省から作成的な、歪曲された資料の提供を受けていたことが、意見交換会でのやりとりからもはっきりしました。関東地方小委員会には、誤った情報の提供により取りまとめられたワーキンググループの結論の再検討を求めていかなければなりません。地元住民の意見を十分考慮して、十分なコミュニケーションのもとに審議を進めるよう要請していきましょう。

### 中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

<https://sites.google.com/site/odandonewroot/oshirase>

<連絡先> 佐々木郁子 0551-47-6260

— 八ヶ岳南麓に高速道路はいらない、国道141号の改良整備を！ —

## 1/14 関東地方小委・石田委員長と面談

去る1月14日東京九段にて、兼ねてから要望していた関東地方小委員会 石田委員長と沿線住民の会・東組の代表者4名が1時間半と短時間でしたが、私達の疑念を具体的に伝えるとともに、下記の要望事項を検討して頂けるようお願いしました。

- 1 B案ルートに比較する代替案を提示していただきたい（たとえば国道141号線の改良案や自動車専用道路案等）
- 2 今後1年かけて、上記代替案との比較検討を市民参画のもと行い、小委員会の審議資料とすること
- 3 ワーキンググループの委員の皆さんにも、私たちの意向を直接伝える機会を設けていただきたいこと

面談の最後に、「甲府河川事務所で行われている意見交換会を見に行きます。」「私の良心に鑑み、必ず精査し判断します。」との発言がありました。

国交省と意見交換会（12/18. 2/4）

### 国交省の141号改良案に疑義！

昨年11月より始まった意見交換会は既に3回が終了しました。当初、甲府河川側は「ルート再検討は考慮にない」との威圧的発言から始まりましたが、沿線住民側の詳細な疑問点追及に言葉を濁す場面も見られました。

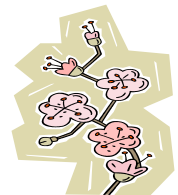
直近に行われた第3回では、「国道141号改良案の扱いについて」をテーマに話し合いましたが、更に新たな疑義が出てきました。

その内容は、第2回アンケートに出てきた、第3案国道141号(一般道)改良案は、現状の信号交差点が残る状態の改良案の為、ミッシングリンクの解消となるような高規格道路では無い事。また、国道141号は地形的にも高規格道路を作るには莫大な費用がかかることが予想されるため、高速道路の代替えとなる一般道の改修はできないとの認識である事・・・、でした。

第2回アンケートでは、多くの回答者が第3案国道141号改良案を選択した為、整備なしを選択した人と意見が二分しました。しかし、国交省側の論理でいけば、国道141号の改良がなされても、ミッシングリンクは解消されないのですから、再度高速道路の整備の検討を行うことになります。

**整備なしを選んだ人が多ければ、「高速道路整備が有効」との中間とりまとめが変わっていた可能性もあります。**

今後行われる意見交換会では、石田委員長の参加も確約されていますので、引き続き国交省側の問題点を追及していきたいと思えます。





北杜市中部横断自動車道活用検討委員会へ提出された

## パブリックコメントの紹介

多くの皆様が「ハヶ岳南麓ルート反対、141号改修」の熱いパブリックコメントを提出しました。このコメントで活用検討委員会が変わって行くことを期待しています。以下、提出されたコメントの一部を紹介します。（抜粋など一部直しています）

国道141号線改修を優先して下さい。市民の生活道路です、北杜市には、国・県と連携して危険、脆弱個所の改修責任もあります。高速道路はそのあとの問題です。141号改修は圧倒的に利点が多い。早期に工事が開始でき、部分改修・部分開通が可能。地元の業者が受注できる。地元の雇用が増える。コストが安い。維持管理費が安い。市民の利便性が向上。環境破壊が少ない。用地買収やその時間が少なくてすむ。冬季も除雪等が容易。

ハヶ岳南麓を横断する高速道路建設計画では、現在示されている範囲だけでも2車線幅と盛り土面積を含め約50mに加え工事車両通行用面積、全長は長坂から八千穂間約34Kの面積で大規模森林伐採等が行われることになると思われます。その他、土砂崩れなどの災害など予測のつかない大規模な環境破壊の懸念もあり、このハヶ岳南麓を横断する計画を到底容認することはできません。

活用検討委員会の委員の中に、新ルートの予定地内に土地を所有している複数の有力な委員がいます。そういう委員の構成で議論された内容を、住民が公平・公正と受け止めるでしょうか。活用検討委員会は誰が見ても公平な委員会であることを保障していかなければ、一部の利害関係者の御用機関と見られても仕方がなく、住民の協力は得られません。

ご存じのとおり私たち住民はこれまで繰り返し、ただひたすらに住民との話し合いや協議、そして住民参画型の道づくりをもとめてきましたが、北杜市や国交省はこれを無視し排除してきました。これまでのそのような姿勢こそが、この間地域住民の間にいたずらに不要な溝・わだかまりを作り上げたのみならず、新たに南麓に移住を願う人々にも様々な混乱をも生じさせてきました。

北杜市の人口が増えているのは、南麓地域だけです。ここの移住者や別荘所有者が、何故ここ南麓に住まいを決めたのかをアンケートを取ってみてください。そうしたら南麓に高速を通すことなど出来ないはずですよ。

新規の道路建設に反対です。人口も交通量も減少していくのに、新規の道路は要りません。ここで投じられる予定の多額の建設費は次世代へのツケになります。笹子トンネルの事故を二度と繰り返さない為に、今あるインフラの整備を。「造るより、繕うを」

私見を言わせていただければ、観光や地域活動を中心に街づくりを考えるのであれば、北杜市にJRの駅が6つもある特徴を生かして鉄道を利用した地域の活性化を目指すべきではないでしょうか。各駅、各地域とも独特の特徴を持っており、出来れば韮崎市から甲府へ至る歴史的にも魅力豊かなエリアとも連携、協力した活性化策が有効ではないでしょうか。また、コンクリート建築物によるのではなく、田園都市として緑と清流の地域、農産物豊かな地域を、また文化・芸術に秀でた多くの方々の活躍される特色ある地域を目指すべきではないでしょうか。東京をはじめとする大都会からの受け皿は地方です。山梨県、特に北杜市は農業、観光、文化芸術の様々な分野で多くの人を受け入れることが出来る優れた地域になると考えられます。

## 寄稿

## やさしくありたい

豊かな自然環境に惹かれて北杜市へ移住したのだが、じっさいに暮らすようになり「景観の美しさ」を改めて実感している。

東京近郊に生まれ育ち、都心へ通学通勤するなかで、いかに心を鈍麻させていたことか。安売り店のまっ黄色な外装や交差点に掲げられた巨大なホストクラブの看板など分かりやすく醜悪なものだけでなく、郊外型大型店舗の均質さや都市空間のなかに整然と計画配置された緑地にも心は傷む。

だから、心を、鈍く鈍くした。高校生のころ、満員電車のなかで足を踏まれること、踏んでしまうことの両方に傷つかないために「スイッチを切る」ことを覚えたように。それは自分の心を守るためであったが、同時にそれでは人に対してやさしくあれなことも分かっており、それによる疲弊も自覚していた。心を鈍麻させても、そのことでまた心は荒む。

今、子どもを小学校や幼稚園へ送る車中、スイッチを切ることはほとんどない。景観の美しさは心が鋭敏なままにあることをゆるす。人にやさしくできたとき、私は生きている幸せを実感する。北杜の子どもたちが心をひらいて日々すごせるように、八ヶ岳の美しい景観を形づくっていきたくないと考えている。



(大泉町 30代 2児の母)

## 沼津 石田委員長が責任者でPIを実施

この事例は鉄道高架事業ですが、石田氏が住民参加の道づくり＝パブリック・インボルブメント（PI）の委員長となり昨年報告書をまとめています。その概要です。

- 20 年来、賛成・反対の市を2分する論争が続いている
- P I 理念「正当な理由なく個人が犠牲になるような不条理や、多くの市民が不利益を被る状況を避ける（不幸を生まない）ことで、地域や個人にとっても、公共の利益にとっても相互に価値のある解決策を模索する」
- 勉強会や車座談議を70回近く開催
- 推奨案をまとめるまでに、5段階のステップを踏み、段階ごとにP I 委員会の監視、助言、評価を受け進行
- 高架化に反対する住民と賛成する住民が議論を重ねてきた勉強会は、当初 30 近くあった案を4案にまとめ、P I 委員会が了承、知事に報告した。石田委員長は4案にまとめた住民の成果を称賛した。
- P I 委員の感想「本質的な価値観の対立があるなかで、お互いの意見に耳を傾ける議論が勉強会という場において成立したこと自体、熟議を実践できた事例として高く評価できるでしょう」



### 参考図書紹介（いずれも高根図書館にあります）

◇高尾山の自然をまもる市民の会編『守られなかった奇跡の山』－高尾山から公共事業を問う－岩波ブックレット 2013.12 発行

「目先の利便性や経済性を疑い、貴重な自然を未来に残すことをめざした」市民運動の活動の経過がまとめられています。

◇村上稔著『希望を捨てない 市民政治』緑風出版

「この市民運動は吉野川を守りたいという一念から住民投票請求に立ち上がり、議会で否決された後、選挙で自分たちが乗り込むことによって議会構成を逆転し、住民投票を実現させ、最終的に国の可動堰計画を中止に追い込んだのです。政治というのは、けっして「変えられない絶望的な現実」ではなく、あくまでも現実を変えるための「道具」であるということです」（2013.05 著者）



# 国道 141 号線を走る！ 須玉若神子から野辺山まで

## 沿線住民の会：春のイベント

私たち新ルート沿線住民の会は国道 141 号線を改修して中部横断道に接続する方法を提案しています。国交省は国道 141 号線について脆弱の一言で退けていますが実際に走ってみて国道 141 号線を観察してみませんか。

**3月8日（土） 13時30分（高根図書館前）**

### スケジュール

- 13:30** 高根図書館前駐車場(集合)  
須玉若神子—おいしい市場—JA 南清里でミーティング
- 15:00** 清里のカフェ到着  
お茶とケーキを頂きながらのミーティング
- 16:30** 高根図書館前駐車場(解散)

\* 参加希望者、お問い合わせは

☎ 0551-45-7832 (東けんじ)

メール [azuken@bj8.so-net.ne.jp](mailto:azuken@bj8.so-net.ne.jp)

\* 道路 \* 公団 OB がナビゲータとして説明

\* 高根図書館からは乗り合いになります。

\* 費用：500 円（珈琲・ケーキ代）

中部横断自動車道整備計画区間の南整備計画区間「増穂 I C～六郷 I C」「富沢 I C～六郷 I C」を見に行こう。4～5 月頃、企画しています。

## 2013年度会計報告（2013.1.1～12.31）

収入の部	2, 431, 881	支出の部	1, 897, 979
寄付金収入	2,430,248	活動費	782,188
雑収入	1,633	事務用品備品費	92,076
<b>収支内訳</b>	<b>533, 902</b>	宣伝広告費	944,765
収入計	2,431,881	雑費	78,950
支出計	1,897,979		

### カンパのお願い

ニュースやチラシの発行など私たちの活動は皆様からのカンパで行っています。皆様のあたたかいご支援・ご協力をお願い致します。同封の振込用紙にてお振込みください。（郵便局の振込用紙も利用可能）

振込先：郵便振替口座名「八ヶ岳新ルート住民の会」口座番号 00220-7-50803